

2010年(平成22年)7月(1)

# おたる 西別院だより

季刊 第93号



〔木版画 朝顔〕

## 盂蘭盆会

8月15日(日)・16日(月)午後1時30分より  
小樽別院本堂にて勤修いたします。

## お盆参り

8月6日(金)より12日(木)の間でお盆参りに伺います。  
(あらかじめハガキにて、参詣日をお知らせいたします。)

## 納骨堂の読経

8月13日(金)より16日(月)の間は朝8時から夕方6時まで  
納骨堂での読経を承ります。

## 盆踊り

8月7日(土)・8日(日)

8月6日(金)より17日(火)まで月忌参詣を  
お休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください。

# 輪番就任挨拶

本願寺 小樽別院

輪番 渡邊 信

わたなへ あきら



なく、前日と同様に当たり前の如く迎えられたこと存じます。

私たちは、毎夜の如く夢を見ます。殊に一月一日又は二日夜に見る夢は「初夢」として世間では重要視されます。この夢は人により千差万別であります。その夢も翌朝には殆どが忘れられているため、覚えられていないのが現実ではないでしょうか。

この普段見る夢とは別に、人生における将来の夢、この夢を叶えるために小さい子どもから大人に至るまで頑張ります。この将来の夢を持つことは非常に大切にされています。

しかしながら、日常使用する漢字に置き換えてみますと、「人+夢=儂」となり、人偏を付けることにより「儂（はかない）」に変化してしまい矛盾が生じてしまいます。

人間の苦しみは、自分の思う様にならないことであり、そのような境界に生きているのが、現実です。夢はまた、希望、人の望みでもあります。

合掌

# 新入職員のご挨拶

承仕



かどかみ せいしろう  
門上 誓淳

四月一日  
付で、本願

寺小樽別院勤務となりました  
北海道教区上川南組聞信寺  
衆徒 門上誓淳です。

京都生まれ京都市育ちですが  
自坊は北海道の上富良野町  
です。

海と山が作り出す小樽の四季  
を感じ触れていく中で本願寺  
小樽別院門信徒の皆様にご挨拶、  
浄土真宗のみ教えの教化伝道、  
本願寺小樽別院の護持発展に  
尽力できるよう日々精進いたし  
ます。

至らぬ点が多くご迷惑を  
お掛けする事も多々あると思  
いますが、皆様のご指導ご鞭撻の  
程を宜しくお願い致します。

合掌

# お寺のイロハ お盆は仏教行事？

「お盆とは何でしょう」という質問にたいして、「お盆は仏教の行事だよ」という答えがかえってきます。

たしかにお盆をさす古い言葉「盂蘭盆」は、もともと仏教の言葉(「ウランバナ」逆さに吊される)ですし、お釈迦さまのお弟子の目連尊者が仏法僧の三宝を篤く敬うことで、亡き母が地獄から救われたという話が元となりお盆の由来になったと言われています。

また宗派を問わず仏教寺院では、「盂蘭盆会」という名前の法要が古くから行われてきています。

と、たくさんの根拠があります。どうも「お盆」と仏教が関係深いことは間違いないようです。

では「お盆」仏教の行事で、仏教とともに日本に入ってきたものなのでしょうか？

実はそう簡単にはいきません。お盆には、仏教では説明できない行事や思想がたくさんあるのです。

たとえば「毎年お盆にご先祖様が戻ってくる」という有名な話ですが、いったん成仏したはずの魂がこの世に戻るといふ考え方は、仏教の教えにはないものです。

ところが、もともと日本には祖先の霊を祀る習慣が縄文時代からあったと言われています。

こうした古くからある慣習に仏教の教えが合わさる形で現代に至ったようです。

ではそれがなぜ七月(旧暦)になったのでしょうか？

話はすこし変わりますが、日本では「盆」と正月がいつペんにきたような」という形容があります。それだけめでたくまた忙しい時期とも言えます。

民俗学者の意見によると正月が一月、お盆が七月(旧暦)で、一年十二ヶ月をちょうど半分にわけるような対称的な位置にこの二大行事が置かれています。同様に春秋の彼岸もやはり対照的な位置にあります。

こうした対照的な年中行事の構造は、長い年月をかけてわが国の民俗文化の基本構造として成立していったようです。ですから単に仏教の影響だけで形づくられたとも言えないでしょう。

では、浄土真宗を旨とする私達はどのようにお盆を迎えたらよいのでしょうか？

今の自分があるのは、ご先祖さまのおかげだと感謝する気持ちと、そしてご先祖さまが間違いなく阿弥陀さまの元に生まれているということをお盆があるのではないのでしょうか。

## 「木版画 朝顔」に寄せて

朝顔は無心に陽の光を戴くと精一杯ツルを伸ばす。そして無心に花を咲かせ、実をつけ、癒しさえ与えてくれる。親鸞聖人は人間は動物植物を含め周りのあらゆる物から生かされているとおっしゃっている。

我々はその事を忘れ自己中心で、自分一人で生きていくと錯覚する。これからは、人間も物の豊かさより、心の豊かさが大切なのだ。朝顔から教えられている様な気がする。

標題は雑誌のイラストを参考に我が家の朝顔を加味した木版画である。



小樽別院門徒

有田 明彦

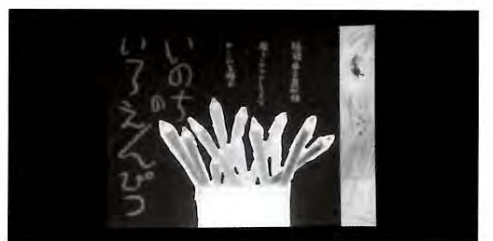
# 親鸞聖人750回大遠忌にむけて

## 5月23日(日) ——— ◇都市法要 於 札幌別院



晴天に恵まれ、ポカポカ陽気のなか、バスに乗り合わせてみんなで札幌別院にお参りにいきました。全道から人が集まり札幌別院の境内の物産展など賑わいをみせていました！！

## 6月5日(土) ——— ◇後志組 お待ち受け法要 (於小樽市末広町 真光寺)



会場となった真光寺さまは満堂。この日も晴天に恵まれ、良い一日になりました。梅広会館での記念布教や法要後の朗読説法、あるいはスライドショーでの寺院紹介など参加者が惹きつけられる催しが数多くありました。また、婦人会や壮年会の方々が片付けの時に手際よく撤収していたり、後志の寺族婦人の方々が接待してくださったり、後志組みんなで勤めたという印象がとても強い法要でした。

50年に一度のこの機会、いろいろ行事がはじまっています  
見逃すことのないように、どんどんお寺へお参りください

# ～編集会議後の話題から～ 本願寺展によせて

本願寺展に行ってきたよ、という話題からまずは近代美術館の内部について。「作品保護のためなのはよくわかるけど暗くて解説文が読みにくかったわ」という意見が。それに続いて「イヤホンで案内が流れるのはよかったですね、展示の仕方がね。少し斜めに傾けて立ててくれれば見やすかったんだよね」と別の方。「そういうえば新聞にも出てましたね。五万人の人は記念品をもらってましたね」「最終的に何人くらい来たんだらうね」「六万人とも七万人ともいわれてたね」「まあそれにしても混んでました。二、三時間かけて鑑賞された方もいらつしやいますしね。あれも



おたる西別院だよりの編集にはいつも話題が絶えませんが、今回も校正についての議題が終わると本願寺展に行ってきたよという話に花が咲き、みんなが語りだしました。本音あり、豆知識ありで非常に面白かったので今回は原稿にしてみました。

性格が出るんですよ、展示順にひとつひとつじっくりご覧になる方もいらつしやいます。私なんかは展示されてる順番どおりに見てたら前がつかえなくて、空いてる所から見えて回って館内を何周もしました」「私は仏教婦人会主催の本願寺展ツアーに参加したのですが、親鸞聖人が朱の墨で書きこんだ直筆の阿弥陀経の経本が素晴らしかったです。」という感想がでると、「しかし来年七五〇回大遠忌だから少なくとも七五〇年以上前の直筆があれば良い状態で残っているのはすごいよね、今の書物つてあれくらい長期間保存できるのかい？」という質問がでると、「紙と墨と保存状態によりますね、今の紙は酸性紙が多いですけどこれなら五十年はもつけど二百年や三百年はもたないでしょうね。見た目ではわからないけど中性紙だと長持ちしますよ。それこそ当時の上質な和紙に墨で

書いて、湿気のないところ、たとえば桐箱とかで保存してあげればもつんじゃないですかね。何しろ国宝なら保存状態は当時で最高の方法だったと思いますよ」別の方は、「でも親鸞聖人のお書物だからお寺でしっかり保存できたんじゃないかな。やっぱり親鸞聖人のお書物だから多くの人が保護すべきだ」と提言したのかもね」語れば語つた分だけいろんな話が出てきます。当時の本願寺の敷地の広さに驚き、ふすま絵や欄間の展示にも感銘を受けたり、あるいは蓮如上人の直筆の御文章や正信偈に感激したり、会場で知らない人と話し込んだり。まだまだ話は尽きませんが、最後は「来年の本山への団体参拝はみんなで行きましようね、そのためには健康に気をつけましよう」ということになりました。

出張撮影、各種証明写真、デジカメプリントDPE、  
学校卒業アルバム制作等。

## 写真のたかはし

〒047-0034 小樽市緑1丁目5番5号  
TEL/FAX (0134)22-8959

21世紀のライフステージを創造する



特定建設業・一級建築士事務所

## 株式会社 福島工務店

代表取締役社長 福島 正紘

本社 小樽市若松1丁目7番18号 ☎(代)23-3542 FAX33-2442  
E:mail info@fukushima-km.co.jp URL http://www.fukushima-km.co.jp

# 降誕会特集



みんなで楽しくお話しながらの作業

**5月6日(木)**

おみがき



余間の畳も拭き掃除

**5月18日(火)**

双葉高校、中学参拝



**5月21日(金)**

三園参拝

今年も元気いっぱいの園児がお寺にお参りに来てくれました。参拝後は幼稚園のホールでジャグリングショーに魅せられ大盛り上がりでした。



## 5月22日(土) 降誕会当日



法要直前で後ろに控えているご法中とご輪番



法要中。背筋が張り詰める緊張感。



双葉高校書道部による書の展示



内陣に供えさせていただいたお供物



今年のお抹茶の接待は浄縁塔で



双葉高校吹奏楽部による演奏。卒業生も応援にかけつけてくれました



お楽しみ抽選会は今年も大盛況



双葉高校華道部と別院お花サークルのみなさんの作品



初参式で初めての焼香



親鸞聖人像の周りもしっかりお飾り

8月～9月  
行事案内

|      |        |        |                             |
|------|--------|--------|-----------------------------|
| 恒例行事 | ○盂蘭盆会  | 日時     | 8月15日(日)・16日(月)午後1時30分      |
|      |        | 場所     | 小樽別院本堂                      |
|      | ○秋季彼岸会 | 日時     | 9月20日(月)～26日(日)午後1時30分      |
|      | 場所     | 小樽別院本堂 |                             |
|      | ○彼岸会布教 | 日時     | 9月20日(月)～26日(日)午後2時～午後3時30分 |
|      |        | 場所     | 小樽別院本堂                      |
|      |        | 布教師    | 備後教区 芦田組 善行寺 堤有年師           |

|      |             |    |   |
|------|-------------|----|---|
| 通年行事 | ○総参拝        | 日時 | 毎月1日・16日午前6時30分<br>※毎月16日は、朝のお勤めの後、お粥があります。 |
|      | ○永代経法要      | 日時 | 毎日午前6時30分及び午後1時30分                          |
|      | ○宗祖親鸞聖人月忌法要 | 日時 | 毎月15日・16日午後1時30分                            |

| 常例布教講師（前期7日～11日・後期13日～16日） |               |    |               |
|----------------------------|---------------|----|---------------|
| 8月                         |               | 9月 |               |
| 前期                         | 愛媛県圓立寺 足利 礼子師 | 前期 | 島根県永照寺 吉川 恭師  |
| 後期                         | 愛知県西福寺 坂野 実慈師 | 後期 | 北海道覚英寺 黒田 顕城師 |

別院門徒物故者

（平成二十二年五月末日現在）

本堂修復懇志  
新規進納者御芳名者

（平成二十二年五月末日現在）

|          |        |
|----------|--------|
| 脇本 鈴木 清一 | 長谷川 哲男 |
| 秋子       | 山本 昭   |
| （敬称略）    |        |

懇志進納者御芳名

城本 キサ様  
懇志二十万円

ご寄贈有難うございました。

3分間の心のともしび  
小樽別院

テレホン法話

TEL 27-1616

●テレホン法話担当表

|                 |    |                 |    |
|-----------------|----|-----------------|----|
| 8/ 1日～15日(日)    | 磯村 | 9/ 1日(水)～15日(水) | 温井 |
| 8/16日(月)～31日(火) | 村田 | 9/16日(木)～30日(木) | 森  |

編集後記

6月に入り、ようやく北海道らしい気候になってきました。4月17日から5月23日まで北海道立近代美術館で行われた本願寺展も6万5千人もの方が来場し無事終了いたしました。別院だより編集会議を開催した日は本願寺展が終わってからのため、編集会議が終わった後も話題は本願寺展の話題でした。このときのお話の内容を今回の別院だよりに載せておりますので、ぜひご覧ください。  
また、おたる西別院だよりをご覧いただいた、ご意見・ご感想をお寄せください。

連絡先

本願寺小樽別院

小樽市若松1丁目4番17号 ☎0134-29-4080  
☎0134-22-0744

|       |       |
|-------|-------|
| 編集委員  |       |
| 門徒委員  | 別院担当者 |
| 福川ヨシ子 | 温井 卓生 |
| 平田 晴己 | 森 敬信  |
| 宮本 和枝 |       |
| 竹澤 知恭 |       |

みんな仲良し  
**小樽幼稚園**

～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越し下さい。(年中見学可能です。事前にお電話でご連絡下さい。)

- ☆**保育時間**→月曜日～金曜日(8:00～14:00/冬期間(12月～3月) 8:00～13:30)
- ☆**昼食**→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆**預り保育**→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:30迄は無料です/降園バス有/夏休み・冬休み(8:30～17:00))
- ☆**プール遊び**→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆**英会話**→月2回年長のみ行います。
- ☆**体操教室**→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆**送迎バス**→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆**主な行事**→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちつきなど。
- ☆**ならし保育**→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、毎週火曜日・木曜日に保育を行います。

**園児募集中**

※詳しくは、入園案内をごらんください。



詳しくはお電話でお問い合わせ下さい。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

**小樽幼稚園**

TEL FAX **0134-22-6536**